

刊夕 日九月四



定額 一紙五銭 全五拾銭 郵費五銭  
 廣告料 五號十二字 一行情五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

### 念珠の智識と由來功德

眞 繼 雲 山

先づ念珠は圓い玉でなければなりません。圓は斷證の義と申して、百八の煩惱を斷じ盡くして菩薩の正覺を圓に證することを目的としたものであります。圓い玉以外に如何なる形も正しき念じゆといふことは出来ませぬ。まさか三角や四角の念じゆがあるわけではありませぬけれども、平形と稱して平玉の念じゆがあり、これは主として眞宗などの片手がけ用として用ひられ、そのほか何宗とも限らず好事家に愛用せられてゐるのを見受けまゝ。特に眞宗において平玉を用ひる向があるわけは、初め法然上人の師、寂空阿闍梨が平玉の念じゆを天童より感得し、これを法然上人に譲られた。法然上人またこれを親鸞聖人に傳授せられた。聖人は大切に護持せられた後、これをその弟子の善性上人へ授與せられた。斯くて伴の平玉念じゆが浄土眞宗に傳子相傳せられた。因縁に由來して、今も同じ様式の平玉念じゆが眞宗信徒間に用ゐられ併せて他宗の人々も、往々これを愛用するに至つたものであらうと見られてゐる。

宗祖の信仰と傳統は、佛敎においては特に重んじられたものであります。眞宗信徒の平玉愛用を目して固よりこれを非議すべき理由は少しもないことであるが、經軌には、平玉念じゆの用ゆべきことと見えなばかりでなく、反對に『大勢至菩薩經』には『平玉念じゆを以てするは是れ引道の弟子なり、我が弟子にあらざる、超越次第するは因果妄語の罪に依る。まさか地獄に墮つべし』とあり、また『日蓮上人御遺文全集』には『人を悪道に墮さん科は天狗外道、平形の念じゆを作り出して、一返の念佛に、十のじゆ數を超えたり』と記されてゐます。但し筆者において平玉を非議するつもりはなく、こゝには單に一資料として掲げておくのみであります。

經典や儀軌に示されてゐるところを綜合して申しますと、念じゆをつくる玉の材料は、樹の實であります。が、その外にもいろいろの材料が擧げてあります。今

そのうち現代人の理解し得る重なざい料だけを左に掲げて見ませう。

- 菩提子、鐵、赤銅、眞珠、珊瑚、木けん子、蓮子、帝釋子、金剛子、水晶、磚葉、熟銅、諸寶、多羅樹子、土珠、螺旗珠、牙珠、赤珠、餘草子、摩尼寶珠、鍮石、銅、和合珠、錫銀、金瑠、瑠貝

要するに清淨無垢にして珠となるものであれば、ことごとく念珠の材料として差つかへないのであります。右のうち木けん子は木けん子經に由來し、最も古い因縁をもつてゐます。康熙字典に對無けん子とあり、木けん子の葉は漆樹の葉に類し、花は茶色、房は鬼燈に似て三角となり、一房の中に四五粒の果實があり、それが念じゆの玉となるのださうであります。

金剛子とは天目樹の實のこと、桃の核に似た堅いものであります。蓮子とは蓮華の實のこと、特に青れん華の實が尊ばれます。菩提子は有らゆる材料のうち最も尊貴なものとしてゐます。古來、釋尊が悟を開かれた時の道場樹の實として考へられて來たのですが、親しく當年の菩提樹下に參詣せられた

### 美しい花の種子



毎度御好評をいただき居ます  
 横濱植木會社の輸出向特撰種子  
 です「草花種子の蒔き方」差上  
 ます

西村屋藥局種子部  
 平 2 電 3

### 入學記念 景品付大賣出し

來る四月二十五日迄……  
 八圓以上御買上の方に置時計一ヶ進呈  
 致します是非に 御買上の程御願ひ致し  
 ます。

平町停車場通り

星野時計店

### ヒナ人形

現代人形 古代人形其他各種  
 豊富に取揃へました  
 是非御來覽御用命を願ひます

スガノヤ提灯店

際物部  
 平四・電話九十五番

### 専門

産科 婦人科 花柳病科  
 井坂醫院

平町田町 電話五五九番

### 開店

明るいスマートな店となつて  
 パンと……お菓子の店！  
 東京堂がイヨク開店致しました  
 ▼東京の味をそのまゝに……  
 ▼銀座好みをそのまゝに……  
 うまさたっぷり東京のパン召しに！ アナタ様の  
 御運びをお持ちしております。  
 八日より三日間 開店披露のため御土産  
 を差上げます。

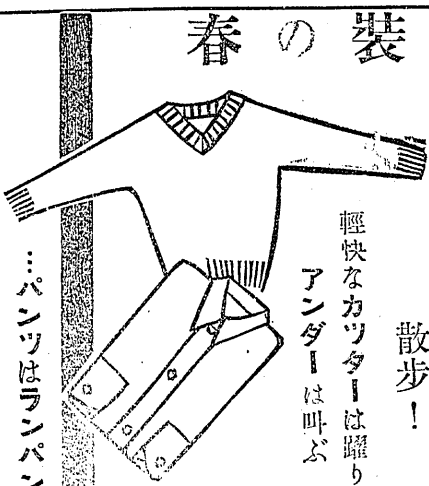
御土産は？

☑御子供様をおつれ下さいますと  
 平才棧小路

ベーカリー 東京堂

電話(呼出)二三七番

### 春の装具



春！  
 花！  
 散歩！

軽快なカッターは躍り  
 アンダーは叫ぶ

……パンツはランパンツ……

山家メリヤス店

### 店員募集

年令十五才以上希望者は至急御來所を乞ふ  
 ◇委細面談

牛久製菓所

平町鍛冶町 電話三八七番

月曜是非

無罪の井上氏

地方政界の人氣者井上茂作氏が老境に入つて益々圓熟、一層地方の爲めに大いに爲すべきを信ずると共に、其の晩節を全ふせん事を自他共に望んで止まなかつた折柄、突如破産法違反の罪に問はれて、その收容を見るに及び、多くの人は愕然として色を失つた、而して大衆は心からその無罪であるべきを確信して事態の推移を注視して居た勿論大衆が無罪を信念する根據は法理論に基くものではない、たゞ井上氏は不浄の金を手にするが如き程迄に思慮の無い人でなく、又日頃清貧に甘んずるその行動より推察して、必ずや法網に抵觸するが如き妄動を敢てする人に非らざる事を心から信ずるの餘り、假りに今罪の嫌疑を受くる不幸に遭遇すると雖も、他日晴天白日の身となるべきを疑らなかつたが爲めに信じ切つた『無罪』であつた。

月に亘る井上氏の心勞は、容易なものではなかつた事、が今更らぬ如く肯かれる、然れ共、多少でも疑ひの眼を以つて見られた事實が茲に爬羅剔抉された事は、恰も大外科手術を施したと同様に、一層井上氏の人物は鮮明されたものであつて、今後回生の井上氏が地方公衆の爲めに働く資材としてその力を傾注するであらう事を期待する。

消防幹部

昨日集合し

表彰、協議其他

平警察署管内四町十八ヶ町村消防協會幹部大會は八日午前十時半から平第三小學校に於て開かれたが出席者四百餘名横山協會長の訓示に次で指示、注意等あつて後既報の如く永年勤続組員平副組頭柏原幸次郎、同伍長根本幸次郎、三坂副組頭吉田清三郎、鹿島組頭佐藤米治の四氏の表彰を行ひ協議に入り

明日の忠魂祭に

各學校生徒参拜時刻

既報平松ヶ岡公園招魂祭は明日舉行されるが各公私立中等學校及び各小學校は打合せの上参拜時刻を左の如く協定した

商業午前八時 磐中八時 二十分 佑賢、青年八時 四十五分 磐女九時 藤田、平陽九時三十分 第一九時五十分 第二十分 第三十分 第三十五分

平町の區長會

平町では十九日午後一時から區

詔書奉讀

平町各教員が

平第一、第二、第二各小學校職員一同は明日午後二時より第一小學校講堂に集合する四日宮城前に於て行れた全國小學校教員精神作興大會に賜つた詔書の奉讀式を舉行すると

内郷信用

功勞者表彰

内郷信用購買組合では多年同組合の爲めに功勞をつとした左記七氏を表彰することになり来る十五日午前十時から組合事務所樓上に於て表彰式を舉行したつて七氏を中心とする懇親會を催すと

平商級長

本日決定す

平商業學校では本日今學年度各學年に於ける前期正副級長を左の如く任命した

慰勞金

平町會は本日午後一時より開かれ既報の議案を附議したが元同町収入役大河原茂平氏に對する慰勞金を贈呈の件に就ては退職手當として壹千二百八十圓慰勞金として壹千圓合計二千二百八十圓を贈ること満場一致で可決した

平町人事

△杉平一九 當時茨城縣猿島郡古河町大字古河一三三四山崎道也氏三男正造

結婚

△紺屋町六六 源吉氏長女 國分トキさん(一九) 平

市原醫院

平町 田町 電話一四番

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

美味! 芳醇!

四郎氏(三〇) 白銀町五 戸田キチさん (二五) 小川留十氏(三三)

# 無罪の言渡に

## 感極まり言葉なく

### 井上氏外感慨無量の態

#### 一時に起る喜びの嵐

既報—井上茂作、色川勝三郎、佐藤三平の三氏に係る破産法違反事件の言渡公判は本日午前十時五分より金才判長係り氏家、松田兩判事陪席、清田検事、澤田書記立會各辯護人列席の下に開廷され才判長より厳然として各被告共に無罪の旨を言渡すや寛大な此の名判決に三氏共感極まつて言葉なく閉廷後今日の判決を憂慮して詰め掛けた親戚其他多數知己のお目度うの祝福の嵐の中に埋りいづれも感慨無量の態であつた

## 函館へ送金

### 平町同情の結晶

一千八百八十二圓に達す

屢報—平町では函館市に義捐金を贈るべく過般より各區に割當て募集中であつたが未提出區の材木町も七日三十圓六十圓を送付全部纏り累計一千八百八十三圓に達したので此の間から雜費を差引き一千八百八十圓二十九錢を今日函館市長宛に贈つた尚ほ七日提出された義捐金の如く

## 短刀を

### 懐中して

飲み荒らす

平町才植小路無職渡邊義一(三)は昨夜午後七時頃南町カフェーパラダイスに於て飯酒泥酔して且つ懐中にしてゐた刀渡り八寸五分の白鞘の短刀をみせびらかして暴行を働かんとする形勢に密行中の平署員に檢舉拘留されたが花見時を前に愈よ

## 幾分低落

### 大浦共米の

大浦農業倉庫では七日同倉

これら不良與大者が跋扈し善良なる市民を苦しめるのに鑑み平署では斷乎取締りを嚴にして不良の輩を一掃する

## ピアノ開き

### 磐女で音楽會

磐女樓ケ丘會では来る二十日午後一時より母校に於て幹部會を開き過般皇太子殿下御降誕記念として母校に寄贈したピアノ披露に關し種々協議するが大体五月十日頃となる模様である

## 坂内氏の

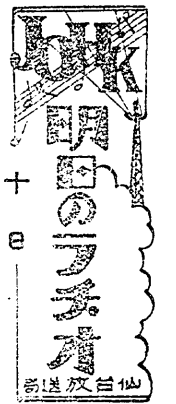
### 送別會開催

過般の異動により飯野小學校長に榮轉された平第一小學校首席坂内伊貞氏は来る十一日出發赴任されるが本日は午後六時より谷口樓に於て保護者會長井上貞治郎氏及び三小學校長發起の下に送別會が催される

## 小形南瓜

### 農試で奨励

神谷農事試験分場では都會生活者からは小形南瓜が歡迎される傾向があるので本



今晩は西北の風 明日は南西の風 曇時々晴

## 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
ラヂオ風景—伊勢路の春色—まつさか童謡團  
後六、二五 基礎佛語講座  
丸山順太郎 講演—函館の大火災に於ける軍隊の活動—函館衛戍司令官陸軍少將山口正熙

○花の週間(第七日) ●  
後八、〇〇 舞臺劇  
後九、〇〇 獨唱と管絃樂  
一、獨唱踊り子二團舞曲  
「春の聲」三獨唱 歌劇獨唱伊藤敦子 日本放送交響樂團  
後九、三〇 時報 ニュー氣象通報 番組豫告

○富岡一八 浪江二一

平商取締會義 平商業學校では来る十三日午後一時より同校會議室に於て生徒係會議を開き左の件に就き協議すると

一、本年度生徒取締及訓練方針に關する件  
二、通學班に關する件  
平職業紹介所報告  
回人を求める方

## 花を前に

### 園内美化

#### ペンチ新設

平町では花見時を控へて松ヶ丘公園内の美化整理を行つてゐるが先づ觀櫻客の殺到を豫想して園内五ヶ所にペンチを新設して便宜を計る此の設備費二十圓内外

## 送致件数増加

平檢事局管内各警察署よりの三月分送致件数は百五十七件で二月分の百件に比し五十七件の増であるが各署別は左の如くである

- △小使 二十七才 尋五修
- △職工 二十九才 尋卒
- △表具見習 十八才 乙種
- △職工 三十五才 高卒
- △土工夫 五十二才 尋卒
- △小使 二十七才 尋五修
- △職工 二十九才 尋卒
- △表具見習 十八才 乙種
- △水産校卒

## 明日

前六、三〇 基礎佛語講座  
(一)橋本忠夫  
前七、二〇 聖典講義—佛敎の要義(六)山邊習學  
前九、一〇 料理献立—焼煉のマスター! ドン! スカ!  
前一一、〇〇 母の講座  
「赤ちやんの心の育て方」  
前一一、五〇 東京大學野球聯盟極東大會派遣チム! 論衡試合實況(神宮球場より中継)  
後〇、〇五 和洋合奏—俗

曲集「玉手箱」三長唄「元祿花見踊」松竹管絃樂團  
後六、〇〇 子供の時間  
童謡 一、ウンドゥスルリ  
種 二、赤い風船 外數種  
後六、二五 漢文講座 菅谷文次郎  
後七、三〇 昭憲皇太后御二十年祭記念講演 明治神宮々司海軍大將有馬良輔  
後八、四〇 箏曲「記念の鷹の羽」萩岡松韻  
後八、五五 謠曲「飛鳥川」喜多六平太外大勢

## 坑内に瓦斯充滿し

### 坑夫二十名が窒息

#### けふ福島炭礦の珍事

九日午前十時半頃赤井村福島炭礦第一堅坑に於て坑夫三十數名が採炭作業に従事してゐたがガス充滿のため二十名が窒息、人事不省に陥つたので大騒ぎとなり救助隊を組織して坑外に救出とら取へず應急手當として酸素吸入を施す二方平町よ

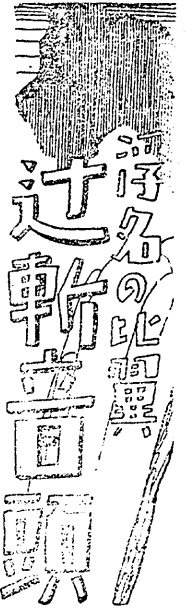
## 春とカメラ

……何んといふ愉快な……とせう。  
カメラを携へて  
花、笑ひ、鳥、唄ふ  
春の山野を訪れる……  
これこそカメラファン  
のみが持つ、特權でな  
ければなりません。

特約店  
カメラ部  
MSカメラ部  
MSカメラ部  
MSカメラ部

## MSカメラ

暗室不用  
MSカメラ部  
MSカメラ部  
MSカメラ部



(禁聲上段及上段)

田邊南龍(作) 山本英春(書)

敵持つ身で駆落 助七兄弟顔を見合せ、何か耳打ちをしてゐたが『イヤ御口上道理と心得る子を討滅らした故親を相手にする』と云ふ筋もない、然らば兎に角一旦立戻り重ねて御挨拶を致す』

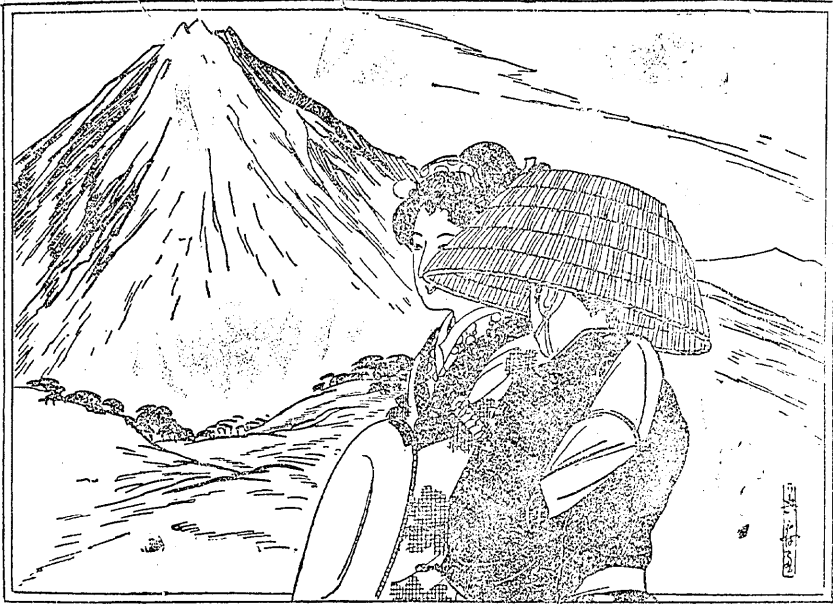
と云つて兄弟は消然として家來共を引連れ我が家へ立戻、此の趣きを重役へ届け、何卒敵討のお許しを願ひたいと申出でました。そこで夜中ながら相摸守殿老臣をお集めになつて御詳議の上

『平井庄左衛門は其の身に誤りがないとは云へ、俵権八の行方相知れるまで閉門申附ける』

といふ事になりましたが又本庄兄弟の敵討の願ひ道理ではあるけれども先代の時、河合又五郎の件に就いて天下を騒がせ又々敵討沙汰に世間を騒がせん事、公儀へ對しても憚りがある故平井権八の行方相分るまで暫らく待つやうにといふ御沙汰が下りました。處が本庄兄弟は矢張血氣の若者達でありますから親の敵を持ち乍ら座臥してゐるに忍びないと云つて一通の遺書を残し夜に紛れて仕馴れた

因州鳥取を立出でましたのは、氣の毒な次第でございます。さて此方は権八、本庄助太夫をうち取り父の怨みど晴したは宜いが、最早鳥取に居る事が出来ません

へ来て庭口から忍び込み、お八重に逢つて言葉短に當地を立退かなければならぬ事を話すと、お八重は何でも一緒に連れて逃げて呉れろといふ、権八も可愛いお八重、此の儘別れて了ふのは惜しいと思つてゐた處だから遂に断落をする事になり、談が纏まりお八重の部屋に一時権八が隠れ夜に紛れて鳥取を出立いたしました。鳥が啼く、東を差して出立をしたお八重、権八の二



から、何處ぞへ行つて身を立てやうと考へたが権八には豫て言交したお八重といふ娘がある。之れは同家中典醫で鈴木玄石といふ者の二女でございます、お八重に一目逢つて判れを告げて行かうと、程近い鈴木邸

人、大阪へ出て京都に上り名所古跡などを見物した上東海道を差して下つて来た途中別段お話もなく掛つて参りましたのが箱根の時。権八はお八重を働はり／＼やつて来ると不意にお八重

『あ痛ッ』 と叫んで立留つた。『どうした、あッ、ひどい血だなどうした』 『あ、痛い、貴所見て下さいまし、怪俄をいたしました』 『騒ぐな、今手當をしてや』 傍への木に腰を掛けさせ検めて見ると足の拇指の生爪をソックリ削してゐる。血を拭き手拭ひを裂いて結へてやり 『サア之でよいどうぞ歩けるか』 『濟みませんお手敷を掛けまして……貴所いけません痛くて、逆も歩けやアしません』 『困つたな、どうしやう』 『貴所背負つて下さいましな』

『馬鹿な事を申せ、大小を差して女を負うて歩けるか今に駕籠でも来るだらう、少し待つてをれ』 宿めてゐる處へ傍らの小道よりソックリ現れた三十五六才の大男 『旦那先刻からの様子を見てをりましたが定めしお困りでございます』

中村齒科醫院 七町冶鍛町平

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番 耳鼻咽喉科専門 大和田醫院 平町南町 電話一七〇番

高久病院 院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄 平町南町 電話五一三番 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン

玉屋洋品店 平町南町通電話六五六番

吉田眼科病院 院長 吉田安雄 眼科専門 醫學士 吉田久雄 平町南町通電話六五六番

魚清の! 豆 自慢の水豆 ました相變り 必ず御最負願ひます... 魚清食堂部 平二番警察署通り 電話六三三番